

ビデオ 通信

2021 年
6 月 3 日 (木)
No.4476

月・木曜日発行
月額：¥11,000 (税込：¥11,880)
発行：飯澤 剛 編集：齋藤 浩一

ユニ通信社

〒106-0047

東京都港区南麻布 5-2-37

DEPECHE MODE 4F

TEL : 03-5422-7515

FAX : 03-5422-7516

E-mail : vt@uni-press.net

TREE Digital Studio

立体音響対応「P.Audio Suite-713」

Flame 編集室「P.Bay-700」をプラザ 7 階にオープン
受注拡大・人材拡充に対応しポストプロダクション体制を強化

(株) TREE Digital Studio の DIGITAL GARDEN 事業部はこのほど、本社機能のある広尾プラザ 7 階にイマースブ 3D オーディオに対応した「P.Audio Suite-713」(写真右) と Autodesk Flame をメインとしたオンライン編集室「P.Bay-700」(写真下) を新設し、5 月 20 日から稼働を開始した。「P.Audio Suite-713」は 7.1.4ch のスピーカー構成により、Dolby Atmos/Ambisonics などイマースブ 3D オーディオに対応し、精度の高い音響空間の提供とともに居住性を兼ね備えて、主力とする TV-CM の



MA 作業にも対応する。一方、「P.Bay-700」は同社 14 室目となる Flame 編集室で、他編集室と同様に広いスペースを確保している。デジタル・ガーデンと TTR のポストプロダクション部門が統合してスタートした「DIGITAL GARDEN 事業部」は、受注業務の拡大と人材の拡充に対応して、ポストプロダクション体制を強化している。

P.Audio Suite-713 = 音響空間の精度の高さと居住性の両立

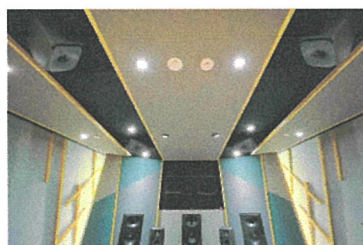
新設した P.Audio Suite-713 のコンセプトは“音響空間の精度の高さと居住性の両立”。基本設計は System Support Dept. の大場将吾氏が行うとともに、施工は日本音響エンジニアリング(株)、システムはタックシステム(株)が担当した。

Audio Mix Dept. Lead Manager/Lead Mixer の横山欣也氏は「1 月の統合を背景にスタッフが増え受注量も拡大しており、MA ルームの部屋数が不足していました。TV-CM を中心に Web 作品や展示会向け、番組まで対応



するジャンルの幅が広がってきている現状で、イマーシブ 3D オーディオなど新しいコンテンツにも積極的に対応していきたいと考えています。背面やサイドの壁面には音響拡散材を多数配して音の広がりを感じることができるとともに、天井にスピーカー×4 式が配置されているので高さを意識した立体的な音空間の作業が可能です」とする。

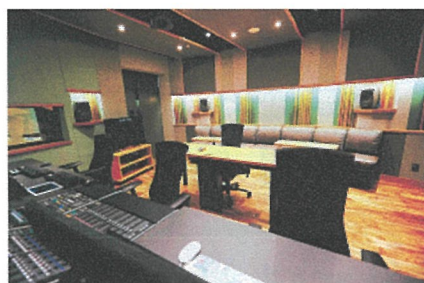
〈フラットに定位がつけやすく、クセがなくミックスしやすい MA ルームに仕上がったと考えています。お客さまがいかにか快適に作業を進められるかについても注力しています。立体音響／ステレオと試聴のベストポイントに応じて作業卓が可動式（600mm）になっており、人数に合わせたスペースの調整も可能になっています。ナレーションブースは奥行きがあり、通常のナレーション録りだけでなく、複数人が入るアフレコ収録も対応できます〉（大場氏）。



スピーカー群



ナレーションブース



室内はグリーン（壁面）を基調に床は板張りとし、音響拡散材とマッチした落ち着いた雰囲気の内装デザインで、クライアントソファはノート PC 等の使用に対応しコンセントが埋め込まれている。また、正確なバイノーラル試聴に対応するため、ヘッドホン用の DANTE イーサネットコネクターが各所に埋め込まれている。

ミキシングサーフェイスは YAMAHA「NUAGE」を導入したことで〈細かな調整も直感的に操作が可能になった〉（大場氏）ほか、モニターコントローラーの YAMAHA「MMP1」や MAIN DAW の Steinberg「NUENDO11」／SUB DAW の Avid「Protools HD」「Protools HD Native」等の各システムは従来のデジタルケーブルではなく、全てをイーサネットケーブルで DANTE ネットワークしている。また、メインスピーカーは Genelec「S360AP」、サラウンドスピーカーは Genelec「8341AP」、サブウーファーは Genelec「7360AP」、サブスピーカーには ADAM「S2V」、Renderer は Dolby「Dolby Atmos HT-RMU for Dante」を導入している。

なお、Audio Mix Dept. では同録～SE～Mix のワンストップサービスが好評で、仕込み作業等に対応する部屋としてプラザ 7 階には「P.Audio Port-714」を、MTR ビル 3 階には「Audio Base」を 6 月に新設する予定という。



横山欣也氏

大場将吾氏

14 室目の Flame 編集室「P.Bay-700」オープン

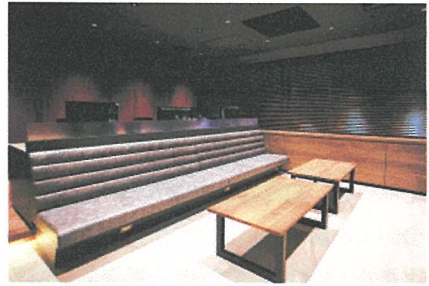
プラザ 7 階に Autodesk Flame をメインとしたオンライン編集室「P.Bay-700」を新設した。

同社の Flame 編集室は、P.Bay-700 のオープンで 14 室目（プラザ＝6 室／MTR＝8 室）となり、国内最大級となった。また、保有する Flame ライセンス数も 30 以上と世界有数規模で、オンライン編集室の新設と同時に、リモート作業の増大を背景にバックヤードで編集作業を行うワークル

ームも拡充している。さらに、Compositor についても 24 人／アシスタント 19 人を擁するほか、オフライン編集室として 5 室（プラザ＝4 室／MTR＝1 室）有している。

Composite Dept. Lead Manager/Lead Compositor の小木曾功治氏は〈DIGITAL GARDEN 事業部では、他社にないスタッフ数と編集室数というスケールメリットを活かして、TV-CM だけでなく様々なジャンルや長尺作品、4K/8K といった高画質作品、さらには短納期など、対応できないコンテンツは無いと考えています。MA ルームと同様に受注作品の増加や人員の拡充を背景に、P.Bay-700 を新設しました〉という。

System Support Dept. の中里 良氏は〈P.Bay-700 は、グレーと木目調のシックで落ち着いた内装になっており、外光も採り入れることができる明るい編集室になっています。編集卓前方にクライアントスペースを配し、他の編集室と同様に広いスペースを確保し大人数での試写も可能なほか、部屋の右側には制作さん向けに広めのデスク（←写真）を用意しています。ソファにはコンセントが設置してあるなど、お客様にも快適な作業環境になるように目指したオンラインルームになっています〉としている。



編集卓前方にクライアントスペースを配し、他の編集室と同様に広いスペースを確保し大人数での試写も可能なほか、部屋の右側には制作さん向けに広めのデスク（←写真）を用意しています。ソファにはコンセントが設置してあるなど、お客様にも快適な作業環境になるように目指したオンラインルームになっています〉としている。

基本設計は System Support Dept.、システムは㈱レスターコミュニケーションズ、施工は㈱安田テクニカルビルドが担当した。

なお、同社では 3 月、MTR ビル 2 階に Blackmagic Design 「DaVinci Resolve」を導入した 4 室目のグレーディングルーム「Bay-205」をオープンしている。キャリアと個性のあるカリリストが充実していることなどを背景に、TV-CM や PV だけでなく配信系長尺作品のグレーディング業務が増えているという。



中里 良氏 小木曾功治氏

◇㈱ TREE Digital Studio <https://www.tdsi.co.jp/>

【DIGITAL GARDEN / プラザ】

東京都渋谷区広尾 5-6-6 広尾プラザ 7F

TEL03-5447-5004 / FAX03-5447-5014

【DIGITAL GARDEN / MTR】

東京都渋谷区恵比寿 2-36-13 広尾 MTR ビル 2 ～ 3F

TEL03-5791-2215 / FAX03-5791-2245



グレーディングルーム「Bay-205」